

2020年1月28日

報道関係各位

株式会社 OKB総研

## 第22回「主婦の消費行動に関するアンケート」結果

OKBグループのシンクタンク株式会社 OKB総研(大垣市郭町2-25 社長 五藤義徳)は、  
標題のアンケートの結果を取りまとめましたのでご紹介します。

### 《要約》

#### 1. 主婦の景況感は、リーマン・ショック以降初めての2年連続の悪化

- ・景況 D.I. (「良くなった」の回答率－「悪くなった」の回答率) は▲28.0。前回調査(2018年11月)から12.8ポイント減少し、リーマン・ショック以降初めての2年連続の悪化となった。

#### 2. 主婦の物価観は、2年連続の上昇

- ・物価 D.I. (物価が「高くなった」の回答率－物価が「安くなった」の回答率) は69.6。前回調査から6.8ポイント増加し、2年連続の上昇となった。
- ・今回調査では「高くなった」の回答率が7割となった。前回増税時(2014年)に行った調査においては「高くなった」が8割超であったのを考えると、主婦は前回増税時ほど物価の上昇を感じていない。

### 【調査概要】

1. 調査期間: 2019年11月11日～11月15日(年1回)
2. 調査方法: OKB大垣共立銀行本支店(東京・大阪を除く)に来訪した主婦(注)791名にアンケート用紙を配布・回収(無記名方式)
3. 有効回答者数: 777名(有効回答率 98.2%)
4. 回答者属性:

年代	20歳代	5.4%
	30歳代	16.5%
	40歳代	25.6%
	50歳代	30.4%
	60歳以上	22.1%
住所	岐阜県	56.2%
	愛知県	39.9%
	三重県	1.9%
	滋賀県	1.7%
	その他	0.3%
就業形態	専業主婦	11.1%
	正社員・公務員・自営業	46.8%
	パートタイマー	38.9%
	内職・その他	3.2%

5. 集計結果表記: 数値は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある。

(注) 本調査における「主婦」とは、既婚の女性で子どもの有無や就業形態は問わない。

資料配布場所: 名古屋金融記者クラブ、大垣市政経済記者クラブ  
【本件に関する問合せ先: OKB総研 調査部 梅木 TEL: 052-564-1520】

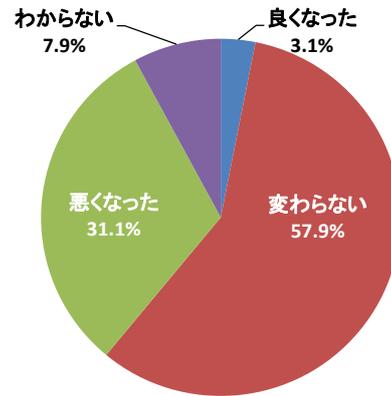
# 1. 主婦の景況感

「現在（2019年）の景気は、1年前と比べてどうなったと感じていますか」と尋ねたところ、「良くなった」が全体の3.1%、「変わらない」が57.9%、「悪くなった」が31.1%となった（図表1）。

年代・住所・就業形態別にみると、20歳代を除く全ての属性において「悪くなった」の回答率が上昇した（図表2）。

景況D.I.（「良くなった」の回答率－「悪くなった」の回答率）は▲28.0。前回調査（2018年11月）から12.8ポイント減少し、リーマン・ショック以降初めて2年連続の悪化となった（図表3）。

図表1 主婦の景況感（全体）

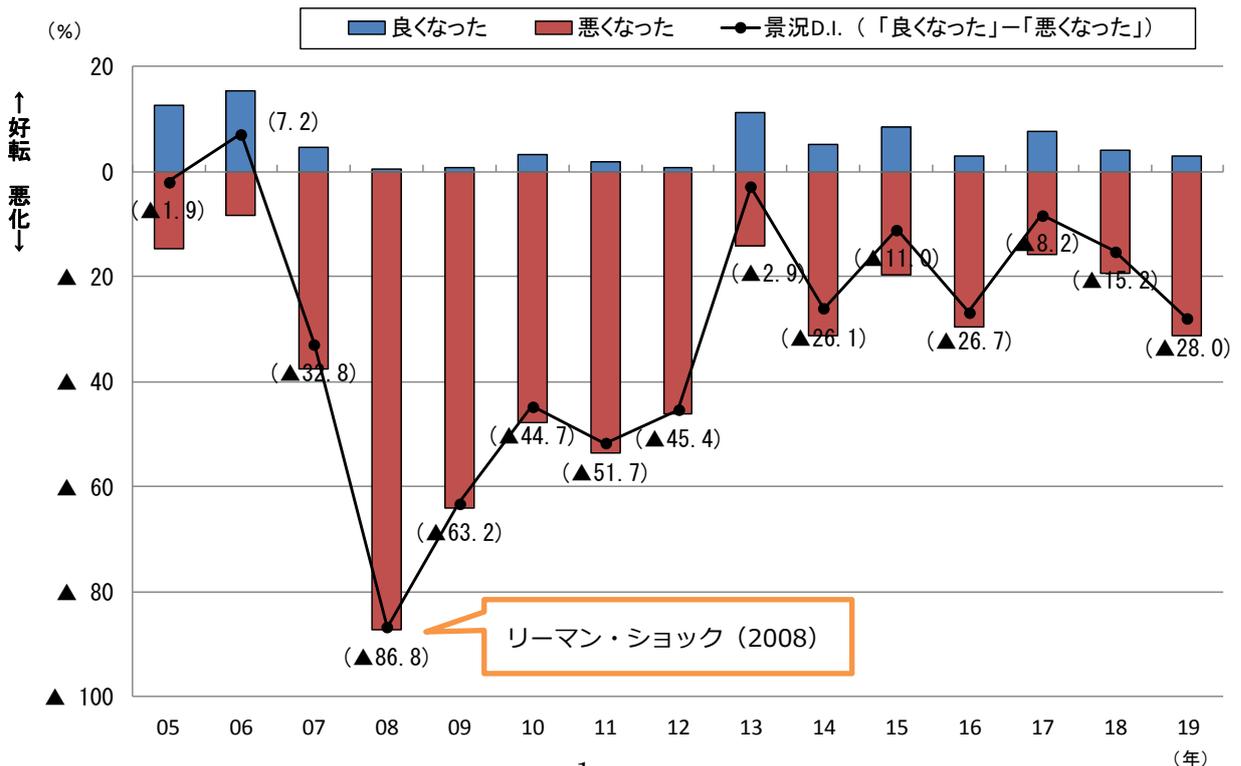


図表2 主婦の景況感（属性別）

	良くなった	変わらない	悪くなった	わからない
全体	3.1 (▲1.0)	57.9 (▲12.0)	31.1 (11.8)	7.9 (1.1)
20歳代	4.8 (▲3.5)	73.8 (8.8)	9.5 (▲5.5)	11.9 (0.2)
30歳代	4.7 (▲2.1)	61.7 (▲6.1)	22.7 (9.1)	10.9 (▲1.0)
40歳代	3.5 (0.8)	61.6 (▲14.0)	25.3 (10.2)	9.6 (2.9)
50歳代	2.1 (▲1.7)	57.2 (▲18.0)	34.7 (16.8)	5.9 (2.9)
60歳以上	2.4 (▲0.3)	47.6 (▲8.6)	44.7 (10.5)	5.3 (▲1.5)
岐阜県	3.0 (▲0.4)	58.9 (▲7.4)	31.3 (8.9)	6.9 (▲1.0)
愛知県	3.2 (▲1.9)	56.3 (▲19.0)	31.7 (17.6)	8.7 (3.3)
専業主婦	0.0 (▲1.9)	60.0 (▲3.5)	30.6 (2.7)	9.4 (2.7)
正社員等	4.7 (▲1.5)	55.2 (▲14.5)	32.4 (15.8)	7.7 (0.3)
パート	2.3 (▲0.5)	61.1 (▲11.0)	29.2 (10.0)	7.3 (1.4)

(注) 括弧内は、前年差を示す。

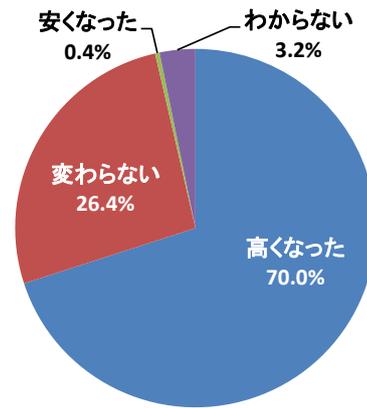
図表3 主婦の景況D.I.の推移



## 2. 主婦の物価観

「現在（2019年）の物価は、1年前と比べてどうなったと感じていますか」と尋ねたところ、「高くなった」が全体の70.0%、「変わらない」が26.4%、「安くなった」が0.4%となった（図表4）。年代・住所・就業形態別に見ると、全ての属性において「高くなった」の回答率は6～7割となった（図表5）。物価D.I.（物価が「高くなった」の回答率－物価が「安くなった」の回答率）は69.6。前回調査から6.8ポイント増加し、2年連続の上昇となった。（図表6）。

図表4 主婦の物価観（全体）



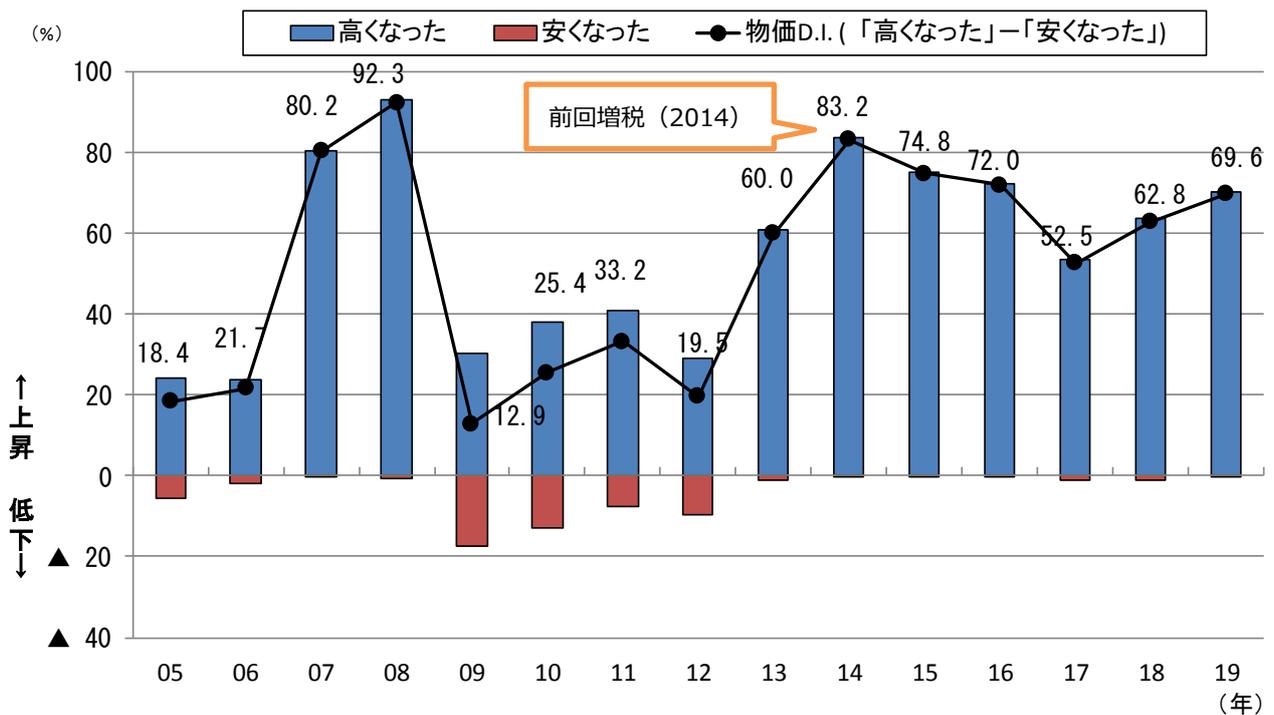
図表5 主婦の物価観（属性別）

(%)

	高くなった	変わらない	安くなった	わからない
全体	70.0 (6.3)	26.4 (▲ 5.7)	0.4 (▲ 0.6)	3.2 (0.0)
20歳代	64.3 (▲ 12.4)	31.0 (14.3)	0.0 (▲ 1.7)	4.8 (▲ 0.2)
30歳代	68.8 (8.6)	28.9 (▲ 5.0)	0.0 (0.0)	2.3 (▲ 3.6)
40歳代	72.4 (7.5)	23.6 (▲ 8.0)	0.0 (▲ 0.9)	4.0 (1.3)
50歳代	66.1 (4.6)	29.2 (▲ 5.8)	0.8 (▲ 0.1)	3.8 (1.2)
60歳以上	74.9 (11.9)	22.8 (▲ 10.1)	0.6 (▲ 1.5)	1.8 (▲ 0.3)
岐阜県	70.0 (6.4)	27.0 (▲ 5.1)	0.2 (▲ 1.2)	2.7 (▲ 0.2)
愛知県	71.5 (7.1)	24.6 (▲ 6.5)	0.6 (0.0)	3.2 (▲ 0.6)
専業主婦	72.9 (14.2)	24.7 (▲ 12.8)	0.0 (0.0)	2.4 (▲ 1.4)
正社員等	66.2 (2.4)	29.7 (▲ 2.6)	0.5 (▲ 0.1)	3.6 (0.3)
パート	74.2 (7.9)	22.8 (▲ 6.6)	0.3 (▲ 1.2)	2.6 (▲ 0.2)

(注) 括弧内は、前年差を示す。

図表6 主婦の物価D.I. の推移

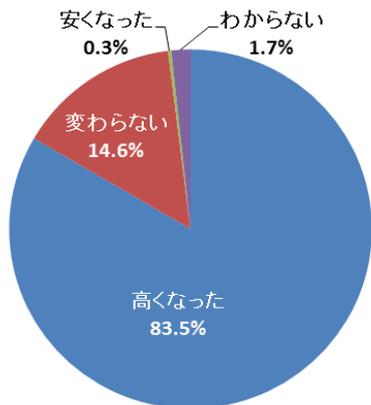


2019年10月に消費税率が引き上げられた。主婦の物価観を前回増税時(2014年4月)と比べてみる。

2014年の主婦の物価観をみると、「高くなった」が83.5%であった。また、物価D.I.は83.2で、前年比プラス23.2ポイントであった。それと比べると、今回調査の「高くなった」の回答率は低く、物価D.I.の前年比上昇幅も小さい。主婦は前回増税時ほど物価の上昇を感じていない様子が見える。

今回の増税の上げ幅は2%と前回の3%より小さいことに加え、食料品などの軽減税率といった、政府による施策の効果がある程度あらわれていると考えられる。

**【参考】主婦の物価観(2014年)**



	高くなった	変わらない	安くなった	わからない
全体	83.5 (22.6)	14.6 (▲20.9)	0.3 (▲0.6)	1.7 (▲1.0)
20歳代	77.3 (24.6)	15.2 (▲30.7)	0.0 (0.0)	7.6 (6.2)
30歳代	80.3 (15.8)	19.0 (▲11.6)	0.0 (0.0)	0.7 (▲4.3)
40歳代	84.2 (26.1)	14.5 (▲24.2)	0.0 (▲1.6)	1.3 (▲0.3)
50歳代	85.4 (20.1)	13.1 (▲18.6)	0.0 (0.0)	1.4 (▲1.6)
60歳以上	86.0 (25.5)	11.4 (▲22.7)	1.8 (▲0.5)	0.9 (▲2.2)
岐阜県	83.2 (20.6)	14.9 (▲19.0)	0.4 (▲0.5)	1.5 (▲1.2)
愛知県	84.4 (25.6)	13.5 (▲23.6)	0.0 (▲1.0)	2.1 (▲1.0)
専業主婦	81.5 (30.2)	17.6 (▲26.7)	0.0 (▲1.7)	0.8 (▲1.8)
正社員等	81.9 (20.4)	14.6 (▲20.2)	0.7 (0.0)	2.8 (▲3.2)
パート	85.5 (21.5)	13.3 (▲19.6)	0.0 (▲0.6)	1.2 (▲1.2)

(注)括弧内は、前年差を示す。

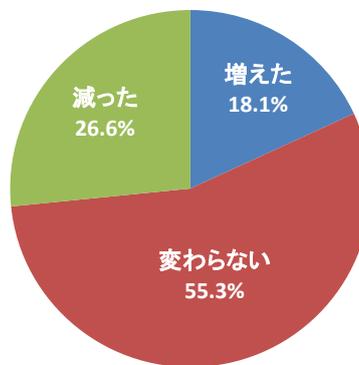
**3. 家計の収支動向**

**(1) 家計の収入**

「2019年の家計収入は、1年前と比べてどうなりましたか」と尋ねたところ、「増えた」が全体の18.1%、「変わらない」が55.3%、「減った」が26.6%となった(図表7)。

年代別で見ると、「増えた」の回答率が20~40歳代で2~3割であり、その他の年代に比べて高くなっている。一方、いずれの年代においても「変わらない」の回答率が最も高く、収入の増加は一部にとどまっていることがうかがえる(図表8)。

図表7 家計の収入(全体)



図表8 家計収入(属性別)

	増えた	変わらない	減った
全体	18.1 (1.9)	55.3 (▲0.2)	26.6 (▲1.7)
20歳代	26.2 (▲0.5)	59.5 (1.2)	14.3 (▲0.7)
30歳代	34.4 (3.0)	50.8 (3.3)	14.8 (▲6.4)
40歳代	24.1 (7.2)	55.8 (▲4.2)	20.1 (▲3.0)
50歳代	9.7 (▲0.1)	59.7 (▲3.5)	30.5 (3.6)
60歳以上	8.3 (▲0.7)	50.9 (9.5)	40.8 (▲8.9)
岐阜県	17.9 (2.5)	54.5 (1.2)	27.6 (▲3.7)
愛知県	18.4 (1.4)	56.0 (▲2.7)	25.6 (1.2)
専業主婦	9.5 (▲1.1)	48.8 (▲2.2)	41.7 (3.2)
正社員等	21.4 (2.4)	57.7 (0.9)	20.9 (▲3.2)
パート	16.6 (1.1)	54.2 (▲2.8)	29.2 (1.6)

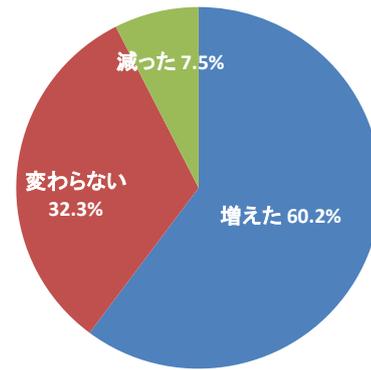
(注)括弧内は、前年差を示す。

## (2) 家計の支出

「2019年の家計支出は、1年前と比べてどうなりましたか」と尋ねたところ、「増えた」が全体の60.2%、「変わらない」が32.3%、「減った」が7.5%となった(図表9)。

年代・住所・就業形態別に見ると、全ての属性において「増えた」の回答率が5~7割となった(図表10)。

図表9 家計の支出(全体)



図表10 家計支出(属性別)

	(%)		
	増えた	変わらない	減った
全体	60.2 (▲ 3.4)	32.3 (1.5)	7.5 (1.9)
20歳代	59.5 (▲ 10.5)	33.3 (6.6)	7.1 (3.8)
30歳代	58.6 (▲ 8.3)	37.5 (7.0)	3.9 (1.4)
40歳代	73.9 (4.7)	24.6 (▲ 3.1)	1.5 (▲ 1.6)
50歳代	56.4 (0.8)	32.2 (▲ 1.6)	11.4 (0.7)
60歳以上	50.9 (▲ 11.4)	37.3 (4.4)	11.8 (7.0)
岐阜県	63.2 (▲ 1.3)	30.3 (▲ 0.7)	6.4 (1.9)
愛知県	57.0 (▲ 5.7)	33.7 (3.5)	9.4 (2.3)
専業主婦	51.2 (▲ 4.6)	34.5 (▲ 1.1)	14.3 (5.6)
正社員等	58.2 (▲ 3.5)	34.9 (1.4)	6.9 (2.2)
パート	65.1 (▲ 2.3)	28.2 (1.5)	6.6 (0.7)

(注)括弧内は、前年差を示す。

## (3) 支出が増えた費目

「2019年の家計支出を考えたとき、1年前より支出が増えた費目は何ですか(あてはまるもの全て選択)」と尋ねたところ、「食費」が49.3%でトップであった。原材料費や物流費、人件費の高まりなどにより食料品の値上げが進んでいることが影響しているのではないかと考える。2位は「光熱・水道費」で30.8%であった。円安による燃料価格上昇や、10月まで25度以上の夏日が続いたことにより冷房設備の稼働が増加したことが要因であると考え(図表11)。

年代別にみると、「教育費」がトップであった40歳代を除き、全ての年代で「食費」がトップであった(図表12)。

図表11 支出が増えた費目の推移(上位5費目)

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	※複数回答 (%)		
											2019	
1位	家電・家具 購入費	食費	交通・通信費	食費	食費	食費	食費	食費	食費	食費	食費 (49.3)	
2位	教育費	教育費	教育費	光熱・水道費	光熱・水道費	交通・通信費	教育費	交通・通信費	光熱・水道費	光熱・水道費	光熱・水道費 (30.8)	
3位	食費	交通・通信費	食費	交通・通信費	交通・通信費	教育費	交通・通信費	教育費	教育費	教育費	教育費 (27.6)	
4位	交通・通信費	家電・家具 購入費	光熱・水道費	教育費	教育費	光熱・水道費	光熱・水道費	光熱・水道費	交通・通信費	交通・通信費	交通・通信費 (25.7)	
5位	光熱・水道費	光熱・水道費	家電・家具 購入費	保険医療費	衣料費	家電・家具 購入費	レジャー費	保険医療費	交際費	家電・家具 購入費	家電・家具 購入費 (21.6)	
											増えた費目 なし	(3.7)

図表12 支出が増えた費目(上位5費目、属性別)

	食費		光熱・水道費		教育費		交通・通信費		家電・家具購入費		※複数回答 (%)	
	金額	前年差	金額	前年差	金額	前年差	金額	前年差	金額	前年差	増えた費目なし	前年差
全体	49.3	(2.6)	30.8	(2.9)	27.6	(1.0)	25.7	(1.7)	21.6	(1.0)	3.7	(▲ 0.1)
20歳代	64.3	(7.6)	23.8	(▲ 9.5)	4.8	(▲ 1.9)	16.7	(▲ 8.3)	11.9	(▲ 13.1)	2.4	(▲ 0.9)
30歳代	69.6	(6.7)	26.4	(▲ 3.8)	52.0	(12.3)	20.0	(1.0)	19.2	(▲ 2.4)	1.6	(▲ 1.0)
40歳代	45.4	(▲ 6.4)	29.6	(5.3)	53.6	(0.9)	35.7	(11.4)	21.9	(4.8)	4.1	(2.7)
50歳代	41.2	(7.1)	30.0	(1.2)	13.7	(0.2)	27.0	(▲ 1.8)	24.9	(3.9)	4.3	(▲ 0.1)
60歳以上	46.3	(4.5)	38.4	(10.7)	3.7	(▲ 0.6)	18.3	(▲ 0.8)	20.7	(▲ 2.0)	4.3	(▲ 3.5)
岐阜県	49.4	(3.6)	34.4	(3.4)	29.5	(4.7)	28.8	(2.6)	19.2	(▲ 1.9)	3.3	(▲ 1.1)
愛知県	49.5	(0.5)	26.7	(4.0)	25.7	(▲ 2.9)	22.4	(1.0)	24.8	(4.0)	4.0	(1.1)
専業主婦	48.1	(▲ 10.2)	34.6	(1.6)	23.5	(▲ 2.7)	22.2	(▲ 1.1)	22.2	(8.6)	2.5	(▲ 2.4)
正社員等	49.7	(3.2)	26.7	(1.6)	24.4	(3.6)	23.9	(3.1)	21.9	(0.4)	3.9	(▲ 0.6)
パート	49.3	(5.9)	34.2	(5.7)	33.2	(0.3)	29.2	(2.0)	21.5	(▲ 1.0)	3.7	(1.2)

(注1) 網掛けは、各属性における最も回答率の高い費目。

(注2) 括弧内は、前年差を示す。

#### (4) 支出が減った費目

「2019年の家計支出を考えたとき、1年前より支出が減った費目は何ですか(あてはまるもの全て選択)」と尋ねたところ、トップは「レジャー費」、2位は「衣料費」、3位は「外食費」で前回と同じ順位であった(図表13)。

前回調査(2018年)より追加した「支出が減った費目はない」の回答率は32.3%と最も高く、前回より0.4ポイント上昇した(図表14)。

図表13 支出が減った費目の推移(上位5費目)

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	※複数回答 (%)		
	費目	費目	費目	費目	費目	費目	費目	費目	費目	2019	前年差	
1位	レジャー費	レジャー費	レジャー費	レジャー費	レジャー費	レジャー費	レジャー費	レジャー費	レジャー費	レジャー費	(21.1)	
2位	外食費	外食費	外食費	外食費	外食費	外食費	衣料費	衣料費	衣料費	衣料費	(18.8)	
3位	衣料費	衣料費	衣料費	衣料費	衣料費	衣料費	外食費	外食費	外食費	外食費	(17.3)	
4位	食費	光熱・水道費	家電・家具購入費	家電・家具購入費	家電・家具購入費	家電・家具購入費	家電・家具購入費	家電・家具購入費	食費	食費	(9.4)	
5位	理容・美容費	食費	食費	理容・美容費	教養娯楽費	理容・美容費	食費	食費	理容・美容費	家電・家具購入費	(9.0)	
										減った費目なし	(32.3)	

図表14 支出が減った費目(上位5費目、属性別)

	レジャー費		衣料費		外食費		食費		家電・家具購入費		※複数回答 (%)	
	金額	前年差	金額	前年差	金額	前年差	金額	前年差	金額	前年差	減った費目なし	前年差
全体	21.1	(▲ 1.2)	18.8	(0.5)	17.3	(1.1)	9.4	(0.7)	9.0	(1.0)	32.3	(0.4)
20歳代	19.5	(0.5)	24.4	(2.0)	19.5	(4.0)	12.2	(1.9)	9.8	(▲ 4.0)	26.8	(2.7)
30歳代	12.5	(▲ 2.7)	11.7	(2.2)	14.2	(▲ 2.9)	5.8	(4.8)	9.2	(▲ 1.3)	36.7	(▲ 1.4)
40歳代	24.7	(▲ 0.7)	10.5	(▲ 4.5)	21.1	(6.1)	7.4	(3.2)	7.4	(▲ 0.1)	37.9	(0.3)
50歳代	19.5	(0.8)	21.2	(0.8)	15.2	(1.4)	13.9	(▲ 0.8)	8.2	(3.3)	30.3	(▲ 0.4)
60歳以上	26.3	(▲ 4.1)	29.6	(4.4)	17.8	(▲ 3.7)	7.2	(▲ 3.9)	11.8	(2.2)	26.3	(2.6)
岐阜県	23.5	(▲ 0.7)	18.3	(▲ 0.6)	19.1	(3.3)	10.3	(1.7)	9.8	(2.1)	31.5	(0.2)
愛知県	18.9	(▲ 0.7)	19.9	(1.7)	15.2	(▲ 2.7)	8.1	(▲ 0.5)	7.8	(▲ 0.1)	33.8	(0.8)
専業主婦	25.0	(0.0)	18.8	(▲ 10.4)	12.5	(▲ 5.2)	11.3	(5.0)	10.0	(▲ 3.5)	30.0	(4.0)
正社員等	18.2	(▲ 1.6)	19.9	(2.9)	16.7	(1.9)	9.1	(0.3)	9.1	(2.2)	30.2	(▲ 2.8)
パート	23.1	(▲ 1.2)	16.2	(0.4)	20.0	(4.2)	9.0	(▲ 0.2)	8.3	(1.1)	35.2	(1.6)

(注1) 網掛けは、各属性における最も回答率の高い費目。

(注2) 括弧内は、前年差を示す。

#### 4. 主婦の買物場所

「お買い物場所 11 業態における利用頻度をお答え下さい」とお尋ねしたところ、主婦が最もよく利用する店は従来通り「スーパー」で、およそ 2.7 日に 1 度（年間 136.4 回）の頻度で利用されていた。次に、「コンビニエンスストア」で 5.1 日に 1 度、「ドラッグストア」で 6.9 日に 1 度となっている（図表 15）。

図表 15 買物場所の年間平均利用回数

（単位「利用頻度」を除く：回/年）

	スーパー	コンビニエンスストア	ドラッグストア	複合型SC	ディスカウントストア	100円ショップ	ホームセンター	通信販売	商店街	百貨店	家電量販店
全体	136.4 (▲ 6.7)	72.1 (0.4)	53.2 (▲ 2.0)	25.6 (3.0)	22.7 (0.3)	16.0 (▲ 0.7)	15.5 (1.5)	15.4 (1.1)	7.8 (▲ 0.5)	6.7 (0.1)	3.5 (▲ 0.3)
20歳代	88.1 (▲ 16.4)	75.2 (▲ 30.6)	40.0 (▲ 24.3)	20.9 (▲ 0.7)	27.8 (▲ 3.6)	13.5 (▲ 1.5)	5.5 (▲ 3.0)	15.3 (▲ 1.5)	1.9 (0.2)	6.9 (0.2)	3.1 (▲ 0.8)
30歳代	104.2 (▲ 22.1)	102.8 (18.9)	56.1 (5.3)	28.3 (▲ 1.5)	18.5 (▲ 5.1)	18.8 (▲ 2.0)	12.0 (2.5)	25.8 (5.3)	1.3 (0.3)	4.8 (▲ 0.1)	3.7 (0.3)
40歳代	146.3 (1.0)	79.7 (5.5)	62.5 (▲ 0.2)	24.9 (4.3)	32.3 (4.9)	15.5 (▲ 3.2)	13.6 (0.1)	16.2 (0.0)	2.8 (▲ 4.9)	4.6 (▲ 0.7)	4.1 (0.1)
50歳代	136.5 (▲ 18.0)	60.7 (5.0)	50.7 (▲ 1.4)	29.3 (6.1)	21.9 (3.0)	15.7 (1.5)	19.5 (4.1)	13.6 (2.4)	7.0 (▲ 0.2)	5.7 (▲ 1.9)	3.2 (▲ 0.6)
60歳以上	161.4 (9.6)	53.8 (▲ 16.3)	46.2 (▲ 0.9)	19.7 (0.1)	13.3 (▲ 2.7)	15.2 (0.4)	17.9 (▲ 1.1)	8.0 (▲ 1.1)	22.2 (2.1)	11.4 (2.6)	2.8 (▲ 1.1)
岐阜県	135.8 (▲ 2.8)	65.6 (▲ 3.2)	58.5 (▲ 2.1)	24.1 (2.5)	26.5 (▲ 2.2)	15.6 (▲ 1.0)	17.1 (1.4)	12.9 (0.0)	6.2 (▲ 0.7)	4.2 (▲ 0.5)	3.5 (▲ 0.2)
愛知県	136.1 (▲ 14.0)	80.8 (3.5)	46.6 (▲ 2.7)	27.7 (3.0)	17.2 (2.5)	16.1 (▲ 1.1)	13.1 (1.4)	17.9 (2.4)	9.9 (▲ 0.8)	9.7 (0.1)	3.4 (▲ 0.4)
専業主婦	151.0 (12.9)	61.0 (2.8)	46.1 (▲ 10.6)	29.0 (3.9)	19.1 (▲ 0.3)	19.0 (1.2)	14.8 (▲ 1.7)	11.8 (▲ 1.5)	14.4 (3.9)	14.5 (6.7)	3.5 (▲ 0.1)
正社員等	128.5 (▲ 4.4)	87.8 (1.0)	54.1 (1.2)	24.8 (0.7)	20.5 (▲ 0.8)	13.8 (▲ 0.9)	17.7 (4.1)	20.6 (4.7)	8.8 (1.1)	6.7 (▲ 0.5)	3.2 (▲ 0.5)
パート	142.7 (▲ 12.1)	57.8 (▲ 3.9)	55.6 (▲ 1.3)	26.1 (5.8)	26.9 (3.0)	17.8 (▲ 0.8)	13.6 (▲ 0.3)	10.6 (▲ 1.5)	4.5 (▲ 3.5)	4.0 (▲ 1.5)	3.9 (0.2)
利用頻度 (注1)	2.7 (0.1)	5.1 (0.0)	6.9 (0.3)	14.3 (▲ 1.8)	16.0 (▲ 0.3)	22.8 (1.0)	23.6 (▲ 2.5)	23.7 (▲ 1.8)	46.9 (2.8)	54.8 (▲ 0.5)	105.0 (8.2)

(注1)「利用頻度」とは、「全体」において、それぞれの業態に訪れる間隔を日数単位で表したものを示す。スーパーであれば2.7日に1回利用するとの意味。

(注2)括弧の中の数字は、前年利用回数および前年利用頻度との差を示す。

以上